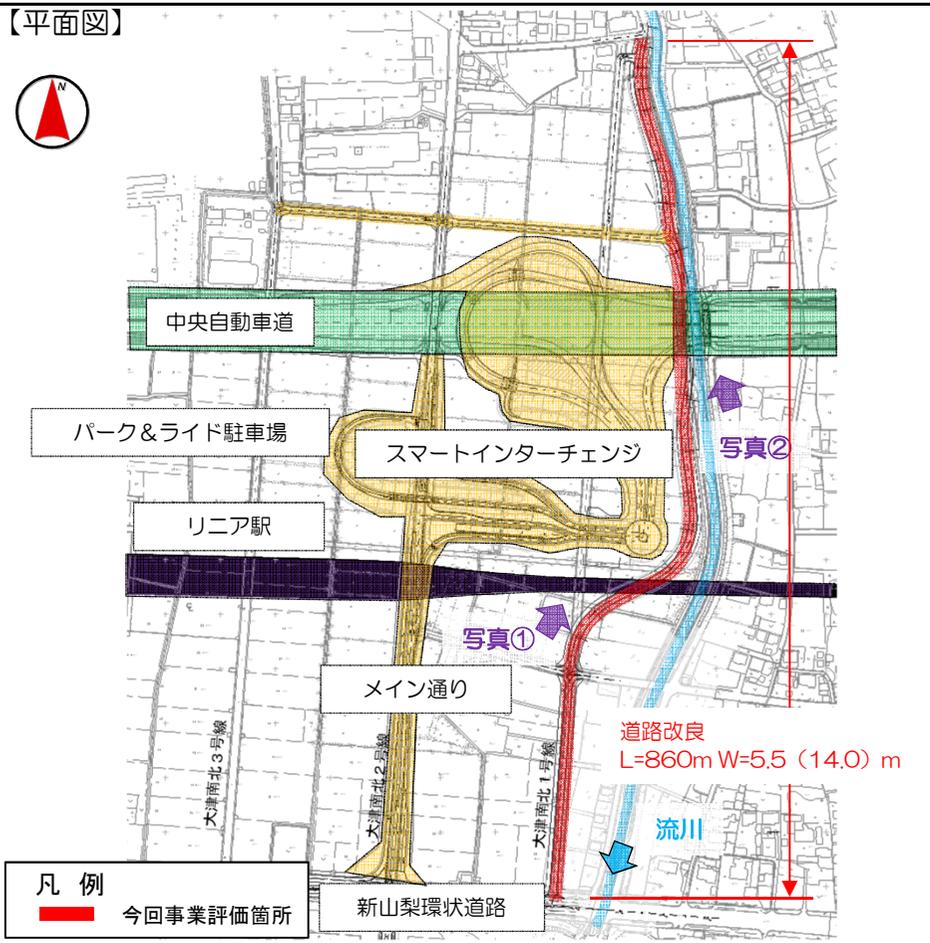


1. 事業説明シート

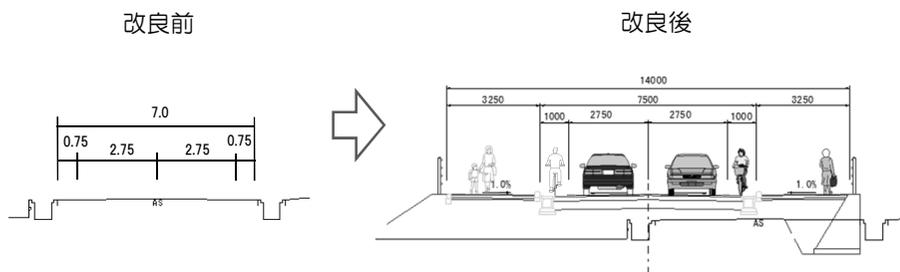
事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業（国補）]	事業箇所	甲府市大津町地内	地区名	(主) 甲府中央右左口線 (リニア駅アクセス道路)	事業主体	山梨県																																										
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																													
<p>①課題・背景</p> <p>リニア中央新幹線については令和9年の開業が予定されており、それに合わせメイン通りやスマートインターチェンジの事業が進められているが、リニア開業後は、駅へのアクセス道路として、周辺の生活道路に大きな負荷がかかることが予想され、地域住民の交通や歩行者等の安全確保が課題となる。</p> <p>駅周辺には学校や公共施設があることから、地元からは駅周辺の生活道路について安全で快適な道路の整備を強く求められており、本事業においてリニア駅周辺整備事業と連携し、整備を行っていく必要がある。</p>				<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○歩行者等の安全性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車交通量：32人台/12h < 93人台/12h以上※ ・自動車交通量：2,058台/12h < 3,428台/12h（平日）以上※ ・小学校からの距離：0.6km < 概ね1km以内※ ・現況の歩道幅員：なし < 1.4m未満※ <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混雑時走行速度：28.3km/h < 30km/h以下※ ・自動車交通量：2,058台/12h < 3,428台/12h（平日）以上※ <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○重要プロジェクトとしての位置づけ（リニア駅周辺整備） ○バリアフリー化の促進（車椅子で通行可能な幅員の確保）</p>																																													
<p>③事業の概要</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</p> <p>地域の重要な生活道路であり、社会的受益は大きく極めて公益性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</p> <p>道路法第15条の規定により県が行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>																																													
<p>④事業実施・規模の妥当性</p> <p>リニア駅周辺整備と連携し、開通後のアクセスの強化及び周辺生活道路の混雑緩和を目的とする整備であり、必要最低限の事業規模である。</p>				<p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>																																													
<p>⑤整備手法の有効性</p> <p>中央自動車道との交差部は既設橋梁の桁下を利用し通過する構造とするなど、経済性を考慮した計画とした。</p>				<p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>																																													
<p>⑥環境負荷等への配慮</p> <p>リニア駅周辺との調和のとれた良好な道路環境の確保に努める。</p>				<p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>																																													
<p>⑦事業計画の熟度</p> <p>甲府中央スマートIC、リニア開通後のアクセス強化及び周辺生活道路の整備について、R1.7月の地元説明会にて説明、意見交換しており、地元の事業に対する熟度は高い。</p>				<p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>																																													
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 道路改良 L=860m W=5.5 (14.0) m</p> <p>②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和6年度</p> <p>④総事業費 約700百万円 (国費371百万円(5.3/10)県費329百万円(4.7/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <p>令和2～3年度 調査・設計・用地補償 200 百万円</p> <p>令和4～6年度 道路改良工事 500 百万円</p> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線整備（JR東海） ・（仮称）甲府中央スマートインターチェンジ（中日本高速道路株式会社） ・スマートインターチェンジ連結道路、駅前広場、パーク&ライド駐車場（山梨県） 平成26年度～令和8年度・約2,800百万円 				<p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>700 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2～R6</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>664 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="3">805 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>582 百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td colspan="3">674 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>82 百万円</td> <td>走行費用減少</td> <td colspan="3">88 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td colspan="3">1 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="3">42 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4">1.2</td> </tr> </table> <p>総合評価 [貢献度ランク：a]</p>				総事業費	700 百万円	工期	R2～R6	基準年	R2	費用	664 百万円	便益	805 百万円			建設費	582 百万円	走行時間短縮	674 百万円			維持管理費	82 百万円	走行費用減少	88 百万円					交通事故減少	1 百万円					その他※	42 百万円			B/C		1.2			
総事業費	700 百万円	工期	R2～R6	基準年	R2																																												
費用	664 百万円	便益	805 百万円																																														
建設費	582 百万円	走行時間短縮	674 百万円																																														
維持管理費	82 百万円	走行費用減少	88 百万円																																														
		交通事故減少	1 百万円																																														
		その他※	42 百万円																																														
B/C		1.2																																															
<p>(4) 事業位置図等</p>				<p>凡例</p> <p> 今回事業評価箇所</p>																																													

2. 添付資料シート

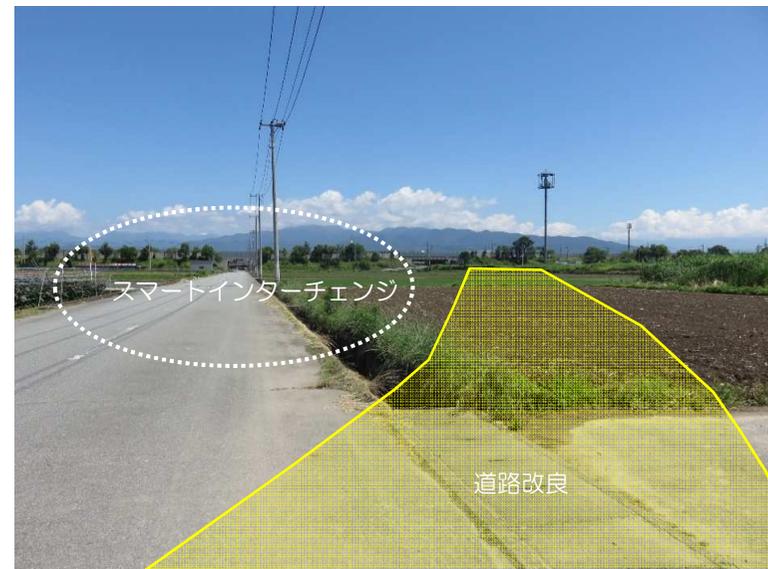
【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】



【写真②】

